



きぬこかい新聞

発行
国土交通省
下館河川事務所
きぬこかい情報発信局

〒308-0841
茨城県筑西市二本成1753
Tel. 0296-25-2161
HPアドレス
http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/



今年度の出水状況と 台風十五号の鬼怒川・小貝川の出水について

下館河川事務所では、毎年鬼怒川・小貝川の出水による洪水対策にあたっています。昨年までの数年においては、出水による洪水対策支部の設置は、年に三〜四回程度でしたが、今年度においては、出水期前の五月の台風二号を始め九月の台風十五号までに既に七回の出水で洪水対策支部を設置し、対策にあたるなど、例年より出水の多い年となつてきている状況です。 ※出水期とは？
下館河川事務所では、集中豪雨(梅雨)、台風等洪水が起きやすい時期(六月〜十月)を出水期と呼んでいます。

台風十五号の出水について

台風十五号の影響により、鬼怒川・小貝川では、鬼怒川の川島水位観測所(茨城県筑西市)では、鬼怒川の水位を、鬼怒川の石井(右)水位観測所(栃木県宇都宮市)及び小貝川の三谷水位観測所(栃木県真岡市)で避難判断水位を超えました。また管内各観測所において氾濫注意水位・水防団待機水位を上回るなど、大きな出水となりました。下館河川事務所では、九月二十一日洪水対策支部を設置し注意体制に入りました。その後水位の上昇により警戒体制に移行し、各自治体の首長への情報提供(ホットライン)、洪水予報・警報の発表、排水機場による内水処理、筑西市等において河川巡視や水防団活動等、懸命な洪水対策が行われました。

洪水対策支部



支部活動状況 (9月22日14時頃)



各自治体の首長への情報提供(ホットラインの実施)

なお、河川の増水により、鬼怒川左岸九・五km付近(塩谷町上平地先)の護岸が被災しましたが、九月二十二日より工事着手し、九月二十五日に応急復旧を完了しました。詳しい情報は下館河川事務所ホームページをご覧ください。

行ってみたいよう！ 建設フェスタ2011

平成二十三年十月二十三日(日)に、ひたちなか市新光町三十八(ひたちなかテクノセンター隣)において、茨城県の建設フェスタ2011が開催されます。このイベントは、茨城県内の公共団体や建設産業に関連する各種団体が一体となって地域の皆さんとのふれあいを通じて、特に次代を担う子供に生活・社会基盤の整備を担う建設事業に対する理解と建設産業の魅力を知っていただくために、
○建設業のイメージアップ
○働く人々への環境改善
○若い人達への魅力づくり
を目的に毎年実施しているものです。
今年で十八回を数え、毎年一万五千人もの来場者があり皆さんに好評を得ています。建設機械体験などの各種体験コーナー、クイズラリーやゲーム、パネル展示等楽しみながら参加できるイベントが盛りだくさんです。行ってみたいかがでしようか。



昨年度の状況です 今年も楽しみです！

出水状況

【平常時と本出水における状況比較】
鬼怒川の出水状況
鬼怒川 44k付近 栄橋(県道結城下妻線)



(平常時) (ピーク時22日6:30頃)

小貝川の出水状況
小貝川 54k付近 大谷川合流点



(平常時) (ピーク時22日6:30頃)

水防活動状況



小貝川右岸49.8k 上野2号排水樋管付近 筑西市水防団による漏水対策(22日17:30)

被災情報



被災状況(22日17時頃) 復旧状況(23日23時頃) 復旧状況(24日12時頃) 復旧状況(26日8時頃)

排水機場による内水処理

施設名	運転時間	累積排水量(㎥)
八間堀川排水機場 左岸11.25k上135	約34h	1,133,100
篠山救急排水施設 右岸21.25k下90	約27h	141,180
高野救急排水施設 左岸9.5k	約35h	43,560
川俣(かわしま)排水機場	約12h	18,450
高木排水機場 小貝川右岸47.8k上180	約54h	637,200
赤碓川排水機場 小貝川右岸45.6k上100	約38h	917,550
伊丹排水機場 小貝川左岸6.0k上150	約43h	1,953,540
合計		4,844,580



外来植物の抜き取りと カワラノギク観察会

鬼怒川左岸(さくら市氏家・氏家大橋上流約三百m地点)において、鬼怒川の礫河原環境を悪化させるシナダレスズメガヤの除去作業と、礫河原固有種のカワラノギクの観察会を行います。
このイベントは、礫河原に生息する貴重な動植物の保全活動を行っている「うじいえ自然に親しむ会」が中心となり、鬼怒川・多摩川・相模川にしか生息しないというカワラノギクの保全のための取組みとして行っているものです。
当日は、除去作業の後、カワラノギクの観察会を行い、専門家による講話・意見交換会を行うものです。薄紫色の可憐なカワラノギクを見に来たいかがでしようか。
日時 平成二十三年十月十六日(日)九時
場所 栃木県さくら市
(氏家大橋上流約三百m地点)
問い合わせ先 うじいえ自然に親しむ会
(事務局・さくら市ミュージアム)
電話028(682)7123

水質事故が減りません

関東地方整備局内の河川では、例年多数の水質事故が発生しています。下館河川事務所管内の鬼怒川・小貝川においても毎年のように水質事故が発生しており、二十三年度においても四月〜九月の半年で既に十五件の水質事故が確認されておりあります。
鬼怒川：油類の流出 4件
小貝川：油類の流出 9件
小貝川：魚のへい死 2件
鬼怒川・小貝川の油類の流出は、水道用・工業用および農業用水などに取水されています。そのため水質事故が発生すると、取水停止になるなど私たちの生活する流域全体に甚大な被害がおよぶことにもなりかねません。油の取り扱いには、十分注意してください。

発生年度	発生件数	内油類の流出
平成19年度	29件	23件
平成20年度	44件	38件
平成21年度	24件	14件
平成22年度	32件	28件
平成23年度(4月〜9月まで)	15件	13件

～水質事故の例～



異常に泡が発生している

油が浮いている

異臭(変なにおいがする)

魚が川で浮いたり死んでいる

川の色が変わる

水質事故を発見したら、すぐに関係機関に通報を！
鬼怒川・小貝川およびその支川で、水質異常を発見した場合は、すぐに鬼怒川・小貝川通報連絡センターまたは最寄りの市町村役場・消防署までご連絡ください。迅速で的確な通報がきれいな川と私たちの暮らしを守ります。
●鬼怒川・小貝川 通報連絡センター
国土交通省 下館河川事務所 管理課
TEL: 0296-25-2169

出前講座のご案内

関東地方整備局が行う事業や施策は、皆さまの生活の周辺にいたるところで実施されています。しかし、皆さんにとって「国土交通省」は少しわかりにくく、遠い存在になってしまっているのではないでしようか？
そこで、関東地方整備局では、私たちの知っている事業や施策についてもっと知って頂くとともに、皆さまのご意見やナマの声を聞かせていただく場として、「出前講座」を行っています。
「出前講座」は、職員が皆さまからのご注文に応じて、各種会議・イベント、自治会、子供会、学校の授業などにかがいが、川・道路・ダム・港湾空港などについて取り組みや専門的知識を活かしたお話を致します。
*講演料は無料です。学校の総合学習や、市民講座などの生涯学習にもご活用ください。原則二〇人程度からお受けします。皆さまからのお申し込みをお待ちしています。

お問い合わせ先 国土交通省 関東地方整備局 出前講座事務局
企画部 企画課 TEL:048-601-3151 内線3176 FAX:048-600-1372
E-mail: demae@kir.mlit.go.jp URL: http://www.ktr.mlit.go.jp/
又は、下館河川事務所 調査課・管理課 TEL:0296-25-2171